

狩猟採集集団の定住化による人口構造とケアシステムの変容に関する分析

マレーシア半島部オラン・アスリ定住村落における人口人類学的研究

小谷 真吾 (千葉大学文学部)

本研究は、マレーシア半島に居住するバテッ、メンドリックのケアシステムとライフコースの変容について、定住化政策による人口構造の変化から分析することを目的とする。バテッ、メンドリックは、マレーシア半島部の「先住民」の総称であるオラン・アスリに類別される集団である。クランタン州とパハン州にまたがる森林地域を居住域とし、マレーシアの近代化以前は遊動的な狩猟採集活動によって生計を維持してきたと考えられる。現在でも狩猟採集活動は継続されているが、直接消費ではなく、現金獲得を目的として行われている。

遊動的狩猟採集活動によって生計を維持してきたオラン・アスリ集団に対して、政府による定住化政策が 1960 年代から進められてきた。本研究の対象である Pos Lebir は、この政策の下に 1970 年代マレーシア政府によって建設された定住村落の一つである。現在の村落内には、コンクリートで作られた核家族世帯向けの住宅が立ち並び、舗装道路、水道、電気、小学校、礼拝施設などのインフラストラクチャーが配備されている。

現地調査として、2009 年、2010 年、2011 年、及び 2017 年の各 1 ヶ月間、村落内に滞在してデータ収集、及び参与観察を行った。人口学的数据は、オラン・アスリに関する行政機関である Jabatan Kemajuan Orang Asli が収集しているデータを基に、住民自身の認識と異なっている部分を修正しながら収集した。また、National Registration Department による国勢調査データも補完的に使用した。生業活動、ジェンダー役割、ケア概念などについて聞き取りを行い、また定量的な行動調査、及び定性的な参与観察を行った。

調査結果において、Pos Lebir の人口構造は、老年人口が少なく若年人口の多い、いわゆる「富士山型」の人口ピラミッドの構造を継続的に示した。また、調査期間内の死亡率はマレーシア国内の集団としては高い値である一方、出生率はそれを上回る非常に高い値を示し、結果として人口増加率が高いプラスの値を示した。この結果は、狩猟採集集団の定住化が出生率、及び人口増加率の大幅な上昇を導くという、先行研究の結果と一致する。先行研究において、狩猟採集集団のモビリティの高さが出生率を抑制していたのに対し、定住化によってその抑制が消失するという仮説が提示されている。本研究における行動調査においても、女性のモビリティが極端に少ないという結果が見られた。定住化とモビリティの変化が人口動態に影響

を与えるメカニズムが解明されたとは言い難いが、本研究の結果はその一例として提示することができるだろう。

出生率の増加と行動調査における女性のモビリティの少なさは、ケア役割の変容を通じた再帰的な現象であると考えることができる。すなわち、遊動的な生活において集団の成員に共有されていたケア役割が、定住化によって女性に特異的に割り振られることにより、再生産活動に彼女らが従事することを期待される。そして、その役割を女性が内面化し、また若年人口が増大していくことで、女性のモビリティがさらに減少していく。このような、産業化された社会でしばしば観察される女性の「主婦化」が、Pos Lebir において観察されたのだと考えることができる。Pos Lebir の日常において、成人男性が狩猟採集活動に「出勤」し、日中の村落内には女性と乳幼児、及び老年者が残るという様相は、以上のような過程を示唆している。

老年者のケアに関して、老年人口の少なさから老年者 1 人あたりのケア資源は豊富にあると言える。地位や財産の継承があまり重要でなかった採集狩猟集団において、長老支配のような関係性を維持する必要はなかったと考えられるが、バテッ及びメンドリック社会でも知識、技術の保持者として老年者は一定の敬意を払われている。老年者が日常生活を営めなくなった場合、その敬意に基づいて集団の成員がケアを行う。ただし、現在の Pos Lebir の日常において、男性が村落内にいる時間が限られる以上、ケアは女性によって実践されていると考えられる。

Pos Lebir における急激な人口増加は、狩猟採集によって得られる資源の減少をもたらし、将来的には生計を狩猟採集活動によって維持することは困難になると予想される。2009 年にはほとんど存在しなかった移住労働者が、2017 年には目立つ程度まで増加していたことは、この予想と並行して起こっている現象であると考えられる。移住労働者は全て若年男性であり、そのまま都市に定住する、あるいは他の集団成員の女性と結婚して帰郷するという、人口構造及び社会構造をさらに変容させるエージェントとなっている。老年者や寡婦が、政府からの社会保障によって生計を維持する日常に移行しつつあることも、人口構造とケアシステムの変容に対する Pos Lebir の人々の対応であると言えるだろう。

キーワード：老年学、狩猟採集集団、人口構造、マレーシア、オラン・アスリ